

安全大会マンネリ打破！ 体験型・参加型企画ガイド

～ 現場の安全意識を劇的に高め、無事故・無災害へ導く実践プログラム集 ～

03
厳選プログラム

無料
ダウンロード

PDF
フォーマット

本ガイドの目的

毎年同じような安全大会（座学・ビデオ上映）から脱却し、参加者が自発的に危険予知を行い、チーム全体の安全意識を高めるための「体験型プログラム」を現場の安全担当者向けに厳選してまとめました。

形式的な年中行事から、記憶に残る「学びの場」へと変革するヒントを本ガイドからご活用ください。

1

対象: 全現場

時間: 30～45分

人数: 4～5名/チーム

■ 概要

現場写真やイラストを使い、チームごとに危険箇所を洗い出す参加型ワーク。「～なので～して～になる」形式で危険を言語化し、安全感受性を高めます。

■ 進め方（4ラウンド）

- 1R: 現状把握 — 潜む危険の洗い出し
- 2R: 本質追究 — 最重要危険ポイントの特定
- 3R: 対策樹立 — 具体的な解決策の立案
- 4R: 目標設定 — 行動目標と指差し呼称の決定

期待効果: 他者の視点を学ぶことで危険感受性が向上。全員参加型のためチームの安全意識が定着しやすい。

2

対象: 全現場

時間: 20～30分

形式: チーム対抗

法改正の基礎知識や現場ルールを3択クイズ形式でチーム対抗実施。スマホ投票機能（Mentimeter等）や挙手制でゲーム感覚で参加でき、退屈になりがちな基本知識を楽しく・記憶に残りやすく復習できます。優勝チームには景品（QUOカードや工具等）を贈ることで盛り上がりアップ。

期待効果: ゲーム性が高く参加率・集中力がアップ。法令知識の定着と最新改正への対応意識が向上。

3

対象: 全現場

時間: 20 ~ 40分

形式: 寸劇・演技

過去に発生したヒヤリハット事例を寸劇形式で実演・検証。
代表者数名が「不安全行動」を再現し、観客全員で「何が問題か」を指摘します。
映像や言葉だけでなく、視覚・体感的に理解できるため、「自分ごと」として
安全意識が強く定着し、実際の現場での行動変容につながります。

期待効果: 「他人事」から「自分事」への意識変革。失敗から学ぶ心理的安全性が高まりやすい。

安全大会 企画・運営チェックリスト

実施前に全項目を確認してください

会場・設備

- ☐ プロジェクター・マイクの動作確認が完了している
- ☐ 参加者全員の座席が確保されている
- ☐ 配布資料の印刷・準備が完了している

プログラム

- ☐ 司会進行のSCRIPTを作成し、担当者と共有している
- ☐ 各プログラムのタイムスケジュールを確定している
- ☐ チーム分けと役割分担が決まっている

事後フォロー

- ☐ アンケート用紙の準備（またはURLの共有）が完了している
- ☐ KY活動で出た危険ポイントを全現場に展開する手順を決めている